

銃声のやんだ朝に

リオードン作 原田勝訳 徳間書店

十七歳のジャックは、イギリスのプロサッカーチームの期待の新星として注目されていた。しかし、第一次世界大戦が勃発し、軍隊に入った。西部戦線に送りこまれた彼を待ち受けていたのは、残酷な戦争の現実だった。悲惨な日々の中、迎えたクリスマス前の夜。ドイツ兵の歌う『きよしこの夜』が戦場に響いた。ジャック達も歌声を夜空に響かせる。やがて、休戦を受け入れた兵士達は、敵味方の隔たりを越え、サッカーを始めた。実際にあったクリスマス休戦を題材にした物語。

